2026 年 11 月 2 日

各位

SBI ネオメディアホールディングス株式会社

秋元康氏が統括プロデューサーに
コンテンツ創出・育成プラットフォーム「CONTENT INNOVATION」始動

～音楽・映像・アニメ・ゲーム等の才能とアイデアを発掘
SBI グループの 1,000 億円規模のファンド等と連携し、事業化まで後押し～

SBI ネオメディアホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：深澤 裕、以下「当社」）は、作詞家の秋元 康氏を統括プロデューサーとし、日本発の新たな IP（知的財産）をゼロから生み出すプロジェクトとして、コンテンツ創出・育成プラットフォーム「CONTENT INNOVATION」（以下「本プロジェクト」）を始動します。

本プロジェクトでは、音楽・映像・アニメ・ゲームなどの専門プロデューサーとともに、完成した作品や既に注目を集める才能だけでなく、まだ形になっていないアイデアの段階から発掘します。SBI グループが組成する出資約束金総額 1,000 億円の「SBI ネオコンテンツ投資事業有限責任組合」（以下「SBI ネオコンテンツファンド」）とも連携し、発掘から育成、事業化、国内外への展開までを支援します。

SBI GROUP × YASUSHI AKIMOTO
CONTENT INNOVATION
コンテンツ創出・育成プラットフォーム

1. 背景と目的：なぜ今、“ゼロイチ”の IP 創出なのか

SBI グループでは、金融・IT・メディアを融合し、顧客基盤拡大と新たな成長機会の創出を実現すべく 2025 年 5 月に当社を設立し、SBI グループが有する金融機能、顧客接点及びデジタル技術と、コンテンツ、IP、タレント、制作・発信機能等を組み合わせ、発掘、発信、投融資及び収益化を相互に連動させる「ネオメディア生態系」の構築を進めています。また、コンテンツ・IP を起点に生まれる共感・信頼・熱狂を、継続的な関係やコミュニティとして育み、購買や参加などの経済行動につなげる「感情経済圏」の形成を目指しています。

また SBI グループは、SBI ネオコンテンツファンド等を通じて、コンテンツ・IP 分野への投資を推進しています。同ファンドは、コンテンツ・IP 分野への投融資を推進しており、株式会社海外需要開拓支援機構（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO 兼 COO 川﨑 憲一）と共同設立した日本のエンタメ・コンテンツ分野を対象としたファンドと併せて、これまでに約 400 案件をリストアップ、内約 150 件の個人・事業者と面談を実施し、審査及び関係者との合意を経た 10 件超の投資

を決定しています。こうした創業来培ってきた金融機能や投資ノウハウを活かし、既存の作品や IP の成長を支えるだけでなく、新たな IP そのものを生み出す機会の創出にも取り組んでまいります。

本プロジェクトは、まだ世に出ていない才能やアイデアの段階から関与・支援し、新たな IP そのものを生み出す「ゼロイチ」の取り組みを強化するものです。本プロジェクトは、企画やアイデアを持つ、多くのクリエイターやアーティスト等（事業者含む）、秋元 康氏を中心とする専門集団によるプロデュース力、SBI グループの事業基盤を結びつけ、日本発の新たな IP が継続的に生まれる仕組みの構築を目指します。

2. 本プロジェクトの 3 つの柱：発掘・育成・事業化

（1）【発掘】秋元 康氏と各ジャンルの専門プロデューサーが、まだ世に出ていない才能・アイデアを探す

秋元 康氏が、音楽・映像・アニメ・ゲームなど、多様なジャンルから複数の専門プロデューサーを選出の上、同氏を中心に、新たな才能や企画の発掘に取り組みます。

例えば、オーディションや企画コンペなどを通じて、完成した作品や既に注目を集めている才能だけでなく、まだ世に出ていない才能や、形になっていないアイデアを、自薦・他薦を問わず幅広く発掘します。具体的なコンテンツとして世に送り出す意欲を持つ、次世代のプロデューサーやクリエイター、アーティスト、タレント等の発掘にも取り組みます。

（2）【育成】ジャンルを越えて才能と企画を掛け合わせ、事業化できる IP へ育てる

発掘した才能や企画について、秋元 康氏と共に、各ジャンルの専門プロデューサーが中心となり、コンセプト開発、制作チームの組成、事業計画の策定及び権利関係の整理などを進め、事業化を目指せる段階まで育成します。

また、異なるジャンルの人材や企画を結びつけ、才能やアイデアを掛け合わせることで、新たなチームや企画が生まれる機会をつくります。新たな IP をゼロから生み出す取り組みを主軸としつつ、既存 IP の権利者等とも連携し、新たな視点やアイデアでその魅力を引き出すことで、活用の幅を広げ、事業機会の創出にも取り組みます。

作品や IP としての独自性・魅力に加え、想定するファン層、発信・販売の方法、収益化の仕組み及び国内外への展開可能性などを検討し、育成の進捗に応じて企画の評価や方針の見直しを行い、実現に必要な人材、資金及び事業パートナーを具体化していきます。

IP そのものの育成に加え、その創出を担う人材の育成や事業者の成長支援も併せて進めることで、継続的に新たな IP が生まれる基盤を形成してまいります。

（3）【事業化】1,000 億円規模の SBI ネオコンテンツファンド等と連携し、国内外への展開を支援

本プロジェクトで育成・評価した有望な IP については、SBI ネオコンテンツファンド等に推薦し、事業化や成長に必要な資金供給につなげます。また当社は、IP の特性や成長段階に応じて、同ファンドへの投資候補としての推薦や、外部パートナーとの共同事業など、適切な事業化スキームを検討します。さらに、SBI グループのネットワークや事業基盤を活用し、グループ内外のパートナーと連携して、制作、マーケティング及び国内外への展開を支援します。作品の発表にとどまら

ず、メディアや SNS、イベントなどを通じてファンとの継続的な接点をつくり、長く親しまれる IP への成長を目指します。

【CONTENT INNOVATION のスキーム】



【秋元康氏プロフィール】

1958 年生まれ。作詞家。『川の流れのように』『恋するフォーチュンクッキー』など数多くの国民的ヒット曲を生み、作詞した楽曲は 5000 曲を超える。テレビ番組の企画・監修、テレビドラマの企画・脚本、映画の企画・原作も手がけるなど、幅広く活躍。

AKB48 グループ・坂道グループに続き、専用劇場を持つ男性アイドルグループ『Cloud ten』をプロデュース。2022 年、紫綬褒章を受章。

【秋元康氏のコメント】



今回の取り組みを、エンターテインメントにおける『コンテンツのスタートアップの育成』の場にしたいと思っています。まだ見つかっていない才能やアイデアという鉱脈を探し出し、金融の力と結びつけることで、新しい作品を生み出していく。大切なのは、立派な座組をつくることではなく、「面白い」「実現したら夢がある」と思える企画に出会うことです。「こんなものをつくりたい」という強い思いを持った皆さんと、まだ世の中にないエンターテインメントを形にしていきたいと考えています。

３．今後について：参画プロデューサーや具体的な取り組みを順次発表

本プロジェクトに参画する専門プロデューサーの顔ぶれや、オーディション・企画コンペなどの具体的な取り組みについては、内容が決まり次第、順次お知らせいたします。

以上

＊＊

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ネオメディアホールディングス株式会社 IR・サステナビリティ推進室
sbinmh_isdo@sbineo.media